

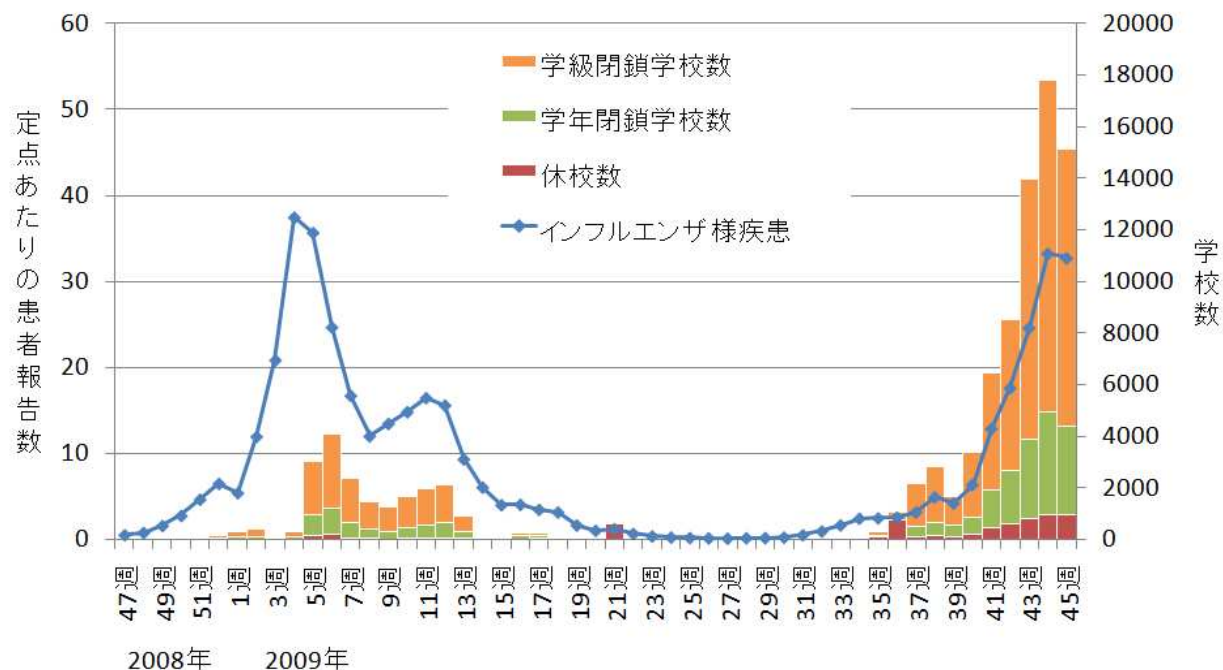
保護者の皆様へ

上宮中学・高等学校
校長 土井 博 史

インフルエンザについて対応の変更のお知らせ

木枯らし寒き今日この頃、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、インフルエンザの感染拡大に関しまして、国立感染症研究所の最新の資料によれば、感染症発生動向調査によるインフルエンザの報告は増加傾向にあり、第45週（11月2日から11月8日）の1週間に157,626例で、定点あたりの報告数（1週間の1医療機関当たりへの受診患者数）は32.76で44週（33.28）と比べてやや減少したとのことです。

厚生労働省結核感染症課が取りまとめているインフルエンザ様疾患発生報告の2009/2010年シーズン第二報によると、45週では全国で学級閉鎖学校数が10,766校、学年閉鎖学校数が3,406校、休校数が977校でありました。休校数がわずかに増加したものの、学級閉鎖、学年閉鎖または休校のいずれかの措置を実施した学校数が28週以降で初めて減少しました。学級閉鎖学校数の増加が学年閉鎖学校数及び休校数と比べて顕著に増加していたとのことです。



インフルエンザ患者発生報告およびインフルエンザ様疾患患者発生報告

ピークが過ぎたかにも思えますが、現在、本校でも学級休業のクラスが出ており予断を許す状況にはありません。全国的なこのようなパンデミック状況のため、医療機関が通常の対応に支障を来し、学校側に対して、新型・季節性を問わずインフルエンザに関しては特例的な対応を求める事態となってまいりました。そのため、本校といたしましても、インフルエンザに関して下記の通り特例的な対応を取らせていただくことといたします。

記

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律所定の感染症および学校感染症に関する従来の対応に変更はありませんが、インフルエンザ（新型・季節性）に関してのみ、現在のパンデミック状況が収束し、医療機関のインフルエンザに関する対応が平常時に復帰するまでの間、特例措置として以下のように対応を変更致します。

1. 医療機関でインフルエンザ（疑似）と診断され欠席（早退・遅刻）した場合。
2. 本校の指示により受診のため遅刻・早退・欠席した場合。
（インフルエンザでなかった場合も含む。）

以上に関しては、保護者からの学校所定の用紙による届けの提出を以て出席停止の取り扱いをいたします。（用紙は本校ホームページからダウンロードすることも可能です。）

これから感染しやすい季節をむかえます。各ご家庭での手洗い、うがい等の予防を徹底し、本人・ご家族の感染を避けて下さい。また、生徒諸君が規則正しい生活ができるようご配慮下さい。

以上